

高等学部商科開設 100 周年記念行事を開催



12月2日、関西学院高等学部商科開設100周年記念礼拝・祝賀会が盛大に開催されました。

まず、ベーツ・チャペルにて記念礼拝が行われ、続いて関学会館「光の間」にて祝賀会が行われました。

海道ノブチカ学部長をはじめ関係者の挨拶がなされ、賑やかな懇親の場が持たれました。

和田充夫教授 最終講義を開催

2013年3月末で退職される和田教授の最終講義が以下の日程で開催されました。

演題：「マーケティング・アプローチの変遷と今」
日時：2013年1月7日(月)13:30～15:00

名誉学位授与

12月10日、関西学院会館ベーツチャペルにて、会計学の分野で数々の研究成果をあげられ、また関学に多大な貢献をなされた、シドニー大学のシドニー・ジョン・グレイ博士に、名誉学位が授与されました。

当日は大勢の参列者の前で、井上琢智学長より、グレイ博士に学位記が手渡されました。



秋学期(2013年)の日程



1月7日(月) 冬期休暇明け授業開始
1月11日(金) 秋学期授業終了
1月12日(土) 秋学期補講日

1月15日(火)～29日(火) 秋学期定期試験
2月12日(火)～13日(水) 秋学期追試験

3月16日(土) 秋学期大学院学位記授与式
3月18日(月) 秋学期大学卒業式

商学部主催・学術講演会開催報告・開催予告

12/6
(木)

Inman Song (インマン・ソン) 氏
韓国 Sungkyunkwan University 成均館大学校教授

演 題

IFRS Adoption in Korea
(韓国における国際会計基準のアドプション)

12/10
(月)

Sidney J. Gray (シドニー J. グレイ) 氏
オーストラリア University of Sydney 教授

演 題

The challenges of enhancing international business understanding :
the case of global accounting convergence
(国際ビジネスの理解を高めるための挑戦：国際的な会計コンバージェンスを中心に)

1/11
(金)

大坪 清氏
公益財団法人関西生産性本部会長、レンゴー株式会社代表取締役社長

演 題

わが経営
-productivity is a state of mind

私が薦めるこの一冊

海道 ノブチカ教授

タイトル：『誰のための会社にするか』

著者名：ロナルド・ドーア

岩波新書(2006年) ISBN: 9784004310259

アメリカでは1980年代に新自由主義的経済政策により株主価値の極大化が追求され、株主中心のコーポレート・ガバナンスが展開された。そこでは「会社は株主のも

の」という考え方が支配的であり、このような株主重視の市場ルールは、グローバルスタンダードとして各国に波及していった。日本でも株主価値至上主義へと急激にシフトしてきたが、これに対して長年日本をつぶさに見つけてきた著者は、疑問を投げかけ、「誰のための会社にするか」を厳しく問うている。ぜひ一読をお薦めします。



卒業論文提出期間について

2013年3月卒業予定者の卒業論文提出期間は2012年12月3日(月)～2013年1月10日(木)16時50分まで(厳守)となっています。提出先は商学部事務室です。



企業との産学連携の取り組み



石淵ゼミでは企業との産学連携の実践に取り組んでおり、コラボレーション商品が製品化されています。



学生の受賞

第21回世界空手道選手権大会・シニア女子団体形



優勝 森岡実久さん(4年)

関西学院大学研究推進社会連携機構主催 KG ビジネスプランコンテスト 2012



特別賞 奥野裕貴さん(2年)

教員紹介



水野 敬三 教授

市場システム論、ゲーム理論、経済学基礎、数学基礎を担当しています。研究分野は経済学で、特に企業の経済活動が社会に与える影響や政府と民間の関係はどうあるべきかを研究テーマとしています。経済学は社会を対象とした学問ですが、私自身は経済学研究を通じて「人間にとって幸せとは何だろうか」「自分は如何に生きるべきか」ということを考え続けてきたような気がします。体育会活動に明け暮れていた学部生時代からの問いは未だ解答を得ていません。趣味の「旅」(知らない場所をブラブラすること)もこれらの問いに答えを見つけるためなのかもしれません。みんなはどう考えますか。



教員の著書・出版のご案内

海道教授、瀬見教授、深山教授、山口教授、渡辺教授
他分担執筆

▶『経営学史辞典 [第2版]』
文真堂 ¥3,150
ISBN13 978-4-8309-4723-0



高等学部商科開設100周年記念号『商学研究』を発行

商学研究科研究会による『商学研究第66号』が発行されました。

商科開設100周年記念号である今号には8名の論文が掲載されています。是非ご一読ください。



"Business Wings" No.11 今年3月発行予定

今年度も商学部の学術雑誌"Business Wings"を来年の3月に発行する予定です。現在、研究演習Iの各クラスから選出された学生編集委員が指導教員のもと、完成に向けて作業を進めています。



嶋村 誠准教授

同記事態をことばで言い表すとき、人によって用いる表現や構文が異なることがよくみられます。なぜなのでしょう。私が専門としている認知言語学では、事態の捉え方(すなわち意味)が異なっているからだ、と考えられています。ですから、例えば send A B と send B to A では捉え方が違い、文脈によってどちらが相応しいかが決まってくるはずですが、担当している英語の授業でも、書き手の捉え方や気持ちを意識すると単に何が書かれているかだけでなく、なぜこんな表現をしているのかということも見えてくる、ということを紹介するように務めています。さらに、英語と日本語をくらべると、両言語話者に捉え方の類似点や相違点があることまで見えてきます。一緒に楽しみませんか。

